

# じっきょう 家庭科資料

(通巻 58号)

## みんなで家庭科を

No. **43**

新学習指導要領特集

### もくじ／

中学校「技術・家庭」学習指導要領改訂の要点	1
高等学校「家庭科」学習指導要領改訂のポイント	4
高等学校「家庭科」(専門教科) 学習指導要領改訂のポイント	15

はじめに

高等学校の新しい学習指導要領が発表されました。先生方におかれましても、その内容に関心をお持ちのことと思います。解説編はまだ発行されておりませんので、当「じっきょう家庭科資料」編修部として、先生方のご参考になるよう、新学習指導要領の内容を整理してみました。

## 中学校「技術・家庭」学習指導要領改訂の要点

中学校の新学習指導要領の実施は、平成24年からとなる。技術・家庭科の教科の目標は、現行指導要領と同様であり、基本的な考え方に変更はないが、よりよい生活を創造するとともに、社会の変化に主体的に対応する能力をはぐくむ観点から、以下のような目標となっている。

### ●技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

### ●家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

内容の構成・履修方法については、現行学習指導要領においては、必修項目と選択項目が設定されていたが、技術分野・家庭分野ともに、以下のA～Dの4つの内容を全ての生徒に履修させることとなっている。

### ●技術分野

- A 材料と加工に関する技術
- B エネルギー変換に関する技術
- C 生物育成に関する技術
- D 情報に関する技術

### ●家庭分野

- A 家族・家庭と子どもの成長
- B 食生活と自立
- C 衣生活・住生活と自立
- D 身近な消費生活と環境

家庭分野においては、「生活の課題と実践」に関する指導事項を設定し、複数の事項の中から1又は2事項を選択して履修させるとなっている。

技術分野・家庭分野における新旧対比については、次の通りである。

## ② みんなで家庭科を

### 技術分野

新	
<b>A 材料と加工に関する技術</b>	
(1) 生活や産業の中で利用されている技術	
ア 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割	
イ 技術の進展と環境との関係	
(2) 材料と加工法	
ア 材料の特徴と利用方法	
イ 材料に適した加工法と、工具や機器の安全な使用	
ウ 材料と加工に関する技術の適切な評価・活用	
(3) 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作	
ア 使用目的や使用条件に即した機能と構造	
イ 構想の表示方法と、製作図	
ウ 部品加工、組立て及び仕上げ	
<b>B エネルギー変換に関する技術</b>	
(1) エネルギー変換機器の仕組みと保守点検	
ア エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み	
イ 機器の基本的な仕組み、保守点検と事故防止	
ウ エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用	
(2) エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作	
ア 製作品に必要な機能と構造の選択と、設計	
イ 製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検	
<b>C 生物育成に関する技術</b>	
(1) 生物の生育環境と育成技術	
ア 生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法	
イ 生物育成に関する技術の適切な評価・活用	
(2) 生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育	
ア 目的とする生物の育成計画と、栽培又は飼育	
<b>D 情報に関する技術</b>	
(1) 情報通信ネットワークと情報モラル	
ア コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組み	
イ 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組み	
ウ 著作権や発信した情報に対する責任と、情報モラル	
エ 情報に関する技術の適切な評価・活用	
(2) デジタル作品の設計・制作	
ア メディアの特徴と利用方法、制作品の設計	
イ 多様なメディアの複合による表現や発信	
(3) プログラムによる計測・制御	
ア コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組み	
イ 情報処理の手順と、簡単なプログラムの作成	

旧	
<b>A 技術とものづくり</b>	
(1) 生活や産業の中で技術の果たしている役割	
ア 技術が生活の向上や産業の発展に果たしている役割	
イ 技術と環境・エネルギー・資源との関係	
(2) 製作品の設計	
ア 使用目的や使用条件に即した製作品の機能と構造	
イ 製作品に用いる材料の特徴と利用方法	
ウ 製作品の構想の表示方と、製作に必要な図	
(3) 製作に使用する工具や機器の使用方法及び加工技術	
ア 材料に適した加工法	
イ 製作品の部品加工、組立て及び仕上げ	
(4) 製作に使用する機器の仕組み及び保守	
ア 機器の基本的な仕組み	
イ 機器の保守と事故防止	
(5) エネルギーの変換を利用した製作品の設計・製作	
ア エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みと、製作品の設計	
イ 製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検	
(6) 作物の栽培	
ア 作物の種類とその生育過程及び栽培に適する環境条件	
イ 栽培する作物に即した計画と、作物の栽培	
<b>B 情報とコンピュータ</b>	
(1) 生活や産業の中で情報手段の果たしている役割	
ア 情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかわり	
イ 情報化が社会や生活に及ぼす影響と、情報モラルの必要性	
(2) コンピュータの基本的な構成と機能及び操作	
ア コンピュータの基本的な構成と機能、操作	
イ ソフトウェアの機能	
(3) コンピュータの利用	
ア コンピュータの利用形態	
イ ソフトウェアを用いた基本的な情報の処理	
(4) 情報通信ネットワーク	
ア 情報の伝達方法の特徴と利用方法	
イ 情報の収集、判断、処理、発信	
(5) コンピュータを利用したマルチメディアの活用	
ア マルチメディアと特徴と利用方法	
イ ソフトウェアの選択と表現や発信	
(6) プログラムと計測・制御	
ア プログラムの機能と、簡単なプログラムの作成	
イ コンピュータを用いた簡単な計測・制御	

※ A (5), (6), B (5), (6) の4項目のうちから1又は2項目を選択

家庭分野

新	
<b>A 家族・家庭と子どもの成長</b>	
(1) 自分の成長と家族	ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり
(2) 家庭と家族関係	ア 家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域とのかかわり イ これからの自分と家族、家族関係をよりよくする方法
(3) 幼児の生活と家族	ア 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割 イ 幼児の観察や遊び道具の製作、幼児の遊びの意義 ウ 幼児との触れ合い、かかわり方の工夫 <b>エ 家族又は幼児の生活についての課題と実践</b>
<b>B 食生活と自立</b>	
(1) 中学生の食生活と栄養	ア 食事が果たす役割、健康によい食習慣 イ 栄養素の種類と働き、中学生の栄養の特徴
(2) 日常食の献立と食品の選び方	ア 食品の栄養的特質、中学生の1日に必要な食品の種類と概量 イ 中学生の1日分の献立 ウ 食品の選択
(3) 日常食の調理と地域の食文化	ア 基礎的な日常食の調理、食品や調理用具等の適切な管理 イ 地域の食材を生かした調理、地域の食文化 <b>ウ 食生活についての課題と実践</b>
<b>C 衣生活・住生活と自立</b>	
(1) 衣服の選択と手入れ	ア 衣服と社会生活とのかかわり、目的に応じた着用や個性を生かす着用の工夫 イ 衣服の計画的な活用や選択 ウ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ
(2) 住居の機能と住まい方	ア 住居の基本的な機能 イ 安全な室内環境の整え方、快適な住まいの工夫
(3) 衣生活、住生活などの生活の工夫	ア 布を用いた物の製作、生活を豊かにするための工夫 <b>イ 衣生活又は住生活についての課題と実践</b>
<b>D 身近な消費生活と環境</b>	
(1) 家庭生活と消費	ア 消費者の基本的な権利と責任 イ 販売方法の特徴、物質・サービスの選択、購入及び活用
(2) 家庭生活と環境	ア 環境に配慮した消費生活の工夫と実践

旧	
<b>A 生活の自立と衣食住</b>	
必修	(1) 中学生の栄養と食事 ア 食事の役割、健康と食事 イ 栄養素の種類と働き、中学生の栄養の特徴 ウ 食品の栄養的特質、1日分の献立
	(2) 食品の選択と日常食の調理の基礎 ア 食品の適切な選択 イ 簡単な日常食の調理 ウ 食品や調理用具等の適切な管理
	(3) 衣服の選択と手入れ ア 衣服と社会生活とのかかわり、目的に応じた着用、個性を生かす着用の工夫 イ 日常着の計画的な活用と選択 ウ 衣服材料に応じた手入れと補修
	(4) 室内環境の整備と住まい方 ア 住居の機能 イ 安全で快適な室内環境の考え方の工夫
選択	(5) 食生活の課題と調理の応用 ア 日常食や地域の食材を生かした調理 イ 会食の計画と実践
	(6) 簡単な衣服の製作 ア 衣服の基本的な構成 イ 簡単な衣服の計画と製作
<b>B 家族と家庭生活</b>	
必修	(1) 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり
	(2) 幼児の発達と家族 ア 幼児の観察や遊び道具の製作、幼児の遊びの意義 イ 幼児の発達と家族の役割
	(3) 家庭と家族関係 ア 家庭や家族の基本的な機能、家族関係をよりよくする方法 イ 家庭生活と地域の人々
	(4) 家庭生活と消費 ア 販売方法の特徴や消費者保護、物質・サービスの選択、購入及び活用 イ 環境に配慮した消費生活の工夫
選択	(5) 幼児の生活と幼児との触れ合い ア 幼児の生活に役立つものの製作 イ 幼児との触れ合い
	(6) 家庭生活と地域とのかかわり ア 地域の人々との交流 イ 環境や資源に配慮した生活の工夫

※ A (5), (6), B (5), (6) の4項目のうちから1又は2項目を選択

※枠囲みは選択事項。3学年間で1又は2事項を選択